

日本遺産（Japan Heritage）に認定された行田市のストーリー

「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」

行田市が日本遺産認定の申請をしていた「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」のストーリーが平成 29 年 4 月 28 日に県内初の“日本遺産”に認定されました。

日本遺産(Japan Heritage)とは 文化庁によって平成 27 年度に創設された新しい文化財制度で、地域に点在する史跡・伝統芸能など有形・無形の文化財をパッケージ化し、我が国の文化・伝統を語るストーリーとして「日本遺産(Japan Heritage)」に認定するものです。歴史的魅力に溢れた文化財群を地域主体で総合的に整備・活用し、世界へ戦略的に発信することにより、地域の活性化を図ることを目的としています。今回を含めて 54 件が日本遺産に認定されています。

認定された行田市のストーリーの概要



ストーリーの構成資産 ストーリーの構成資産（文化財）は 39 件で、内訳は史跡 4 件（国指定 1・県指定 2・市指定 1）、有形文化財 3 件（未指定 3）、建造物 26 件（市指定 2・国登録 5・未指定 19）、有形民俗文化財 2 件（国登録 1・未指定 1）、無形民俗文化財 4 件（未指定 4）となっています。

ストーリー 関東平野の中央部に位置する行田市は、日本一の足袋生産地として知られ、足袋産業全盛期を偲ばせる足袋の倉庫「足袋蔵」が今も数多く残る“足袋蔵のまち”です。表通りに土蔵造りの見世蔵が建ち並ぶ“蔵のまち”は各地にありますが、行田はそうした“蔵のまち”とは異なり、足袋蔵のほとんどが裏通りに建てられています。蔵の造りも土蔵造りだけでなく、石造、煉瓦造、モルタル造、鉄筋コンクリート造、木造と多彩です。いつどのようにして「足袋蔵の町並み」が形成されたのでしょうか。

主な構成資産



埼玉古墳群



忍城跡



足袋蔵ギャラリー門



足袋とくらしの博物館



行田足袋



行田の足袋製造用具及び製品



ゼリーフライ・フライ



行田の奈良漬

日本遺産(Japan Heritage)に認定された行田市のストーリー 行田市教育委員会 2017

https://www.city.gyoda.lg.jp/41/03/10/japan_heritage/20170419.html